

分離可能なウイルス

JLAC10 分析物コード	分離可能ウイルス	主要検体			保存条件	同定可能な型	実施料 判断料	所要 日数	備考
5F194	サイトメガロ (CMV)	咽頭 ぬぐい液	尿		冷 凍 ※2		—	13 ~ 54	主要検体の内訳 ■ : 主として用いられる検体 ■ : 必要に応じて用いられる 検体 検査方法 組織培養 : HeLa(ヒト子宮頸癌細胞) Hep-2(ヒト喉頭癌細胞) HEL(ヒト胎児肺細胞) MDCK(イヌ腎細胞) Vero(モドリザル腎細胞) RD18S(ヒト横紋筋腫細胞) B95a(マーマセトリンバ球由来細胞) A549(ヒト肺癌細胞) LLC-MK2(アカゲザル腎細胞) 同定方法 蛍光抗体法, 中和試験など. アデノウイルスについては, PCR法により同定を行います. エンテロウイルスについては, 中和試験もしくはPCR法にて 同定します. 水疱液の採取に際しては, あらか じめ滅菌生理食塩水にて皮膚を洗 浄してください(アルコール消毒は 不可).
5F193	水痘・带状疱疹	水疱							
5F190	単純ヘルペス	咽頭 ぬぐい液	水疱	陰部 ぬぐい液	1, 2型				
5F150	アデノ	咽頭 ぬぐい液	糞便	尿	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 11, 19, 37型				
5F399	インフルエンザ	咽頭 ぬぐい液			A/H1, A/H3, B型				
5F420	パラインフルエンザ	咽頭 ぬぐい液	喀痰		1, 2, 3, 4型				
5F432	ムンプス	髄液	咽頭 ぬぐい液		凍 70℃ 以下 ※1				
	コクサッキーA群	髄液	咽頭 ぬぐい液	糞便		7, 9, 16, 24型			
	コクサッキーB群	髄液	咽頭 ぬぐい液	糞便	1, 2, 3, 4, 5, 6型				
	エコー	髄液	咽頭 ぬぐい液	糞便	1, 3, 4, 5, 6, 7, 9, 11, 12, 13, 14, 16, 17, 18, 19, 22*, 24, 25, 30型				
5F250	エンテロ	髄液	咽頭 ぬぐい液	糞便	71型				
5F431	麻疹 *3	咽頭 ぬぐい液							

※ パレコウイルス1型

【ご注意】

検体は、発症後速やかに（一般的に4日以内）無菌的に採取・保存してください。細菌繁殖などにより培養細胞が汚染され、検査不能になる場合もありますので、ご注意ください。

①各種ぬぐい液および水疱：

滅菌済みのプラスチック製綿棒にて採取。ウイルス保存液入りバイアル瓶に綿棒を入れてよく攪拌後、綿棒を容器上部で折り、密栓してください。

木製綿棒の使用は避けてください。

木製綿棒を使用した場合は、綿棒を抜いて密栓してください。

②糞便： 小指頭大の半分（0.5g）をウイルス保存液入りバイアル瓶に入れて密栓してください。

③髄液： 1mLをウイルス保存液入りバイアル瓶に入れて密栓してください。

④喀痰・尿： 1mLをウイルス保存液入りバイアル瓶に入れて密栓してください。

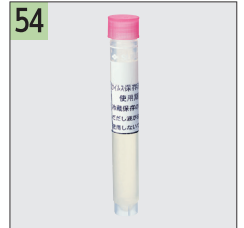
ウイルス保存液（ゲンタマイシン加0.5%BSA含有ブイオン）入りバイアル瓶は、弊社にて準備しますので、営業担当者にお申し付けください（容器番号54）。

ウイルス分離検査・同定検査は、同時にご依頼ください。

ウイルスが分離された場合のみ、同定検査を実施します。

ウイルス「分離」および「同定」は、個別に検査料金を申し受けます。

（ウイルス分離検査が陰性の場合、同定検査の検査料金はかかりません。）



*1：凍結は-70℃以下とし、-20℃では保存しないでください。

*2：サイトメガロ、水痘・带状疱疹は、凍結により活性が低下するため、冷蔵で保存してください。他のウイルスと同時に依頼される場合は、2本に分けて（1本冷蔵、1本凍結）提出してください。

*3：麻疹ウイルスの分離をご依頼される場合は、事前にご連絡ください。